

ワールドスケートジャパン スケートボード

2026 年度国際大会派遣選手選考基準

- ・国際連盟（IF）主催の国際大会への派遣選手は、ワールドスケートジャパン（WSJ）ランキングのランク保持選手とする（※強化指定選手以外が対象となる場合もある。）

- ・各大会への派遣選手数に関して

大会ごとに各国に付与される参加枠数が変動する可能性があるため、派遣選手数は各種目・性別で付与された枠数に応じて決定し、ワールドスケートジャパン（WSJ）ランキング上位より降順で、参加意思のある競技者から選考する。

但し、WSJ ランキングが確定するまでは、日本選手権のリザルト順で選考する

また、特定強化指定選手（世界ランキングにより国際大会への参戦権利を持つ選手）については、各国際大会のレギュレーションに従い派遣する。但し、特定強化指定選手が自身で保持する参戦権を行使し参戦することは費用の自己負担と自己責任に於いてこれを認める

- ・WSJ ランキングは日本選手権と日本 OPEN の合算ポイント順とする

順位	日本選手権	日本 OPEN
1 位	18000	6200
2 位	7900	4650
3 位	6100	2900
4 位	2800	2000
5 位	2400	1750
6 位	2000	1200
7 位	1600	810
8 位	1200	510
9 位	950	400
10 位	800	310
11 位	650	250
12 位	550	200
13 位	450	160
14 位	370	130
15 位	320	120
16 位～	270～（-50）	110～（-10）
17 位以降	一律 10	一律 10

※同合算ポイントの選手がいた場合は日本選手権の順位の高いほうを上位とする

- ・参加権利を辞退する選手がいた場合は、WSJ ランキング順に繰り上げて選考する

- ・派遣対象選手は国際大会派遣に際して WSJ が定める各規程を遵守すること

- ・強化指定選手への国際大会派遣費用補助は、強化指定選手ランクに準じる

- ・未成年者は保護者の同意書が必要となる。となり、さらに中学生未満の選手は保護者および保護者が認めた代理人の同伴が原則として必要となる。その場合の保護者および代理人の遠征費用は、その全額が選手の自己負担となる。また、帯同者ルールに関しては WSJ と対象選手間での遠征に関する合意誓約書に詳細を記載する

- ・国際連盟（IF）の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある

- ・国際オリンピック委員会（IOC）及び国際連盟（IF）が予選規程を変更・修正した場合や、大会が延期となった場合は、必要に応じて本基準も変更する場合がある

- ・パンデミックや戦争等の世界情勢により、国内での選手選考が困難になった場合、本基準を変更することがある

- ・JOC 派遣大会の中でオリンピック大会以外の IOC・OCA 等の選手選考については選考大会を設け、成績上位から WSJ の定める人数を派遣対象とする。選考大会の開催が不可能である場合は WSJ ランキング順に選出し派遣対象とする

※2026 年 9 月開催の愛知名古屋アジア競技大会は、2025 年秋開催の第 8 回スケートボード日本選手権が選考大会となる

- ・選手の安全及びその将来的な競技キャリアを最優先とし、怪我などにより競技に影響があるまたは身体に悪影響を及ぼすと判断される選手の参加は、医師の診断書、本人の意思とともに監督・コーチとの協議により参加可否を決定する

令和 7 年 1 0 月 6 日